

2018年9月3日（月）

## イオンモール岡山で働く方々を対象に「すぐに役立つ！手話講座」を開講

OHKではこの日、イオンモール岡山（岡山市北区）内の会議室にて、このテナント店舗で働く人たちを対象に「すぐに役立つ！手話講座」を開催、あわせて14名が参加しました。

今年2月26日（月）に続き、今回で4回目の開講となります。

前回に続き、今回も岡山県聴覚障害者福祉協会講師の芦田タキ子さん、手話通訳者の林恭子さんの指導で、接客のポイントとなる手話表現を学びました。今回の受講者は、時間の許す限り芦田さんから次々にご指名を受け、芦田さんと1対1でのコミュニケーション実技を体験。皆さんは緊張の面持ちで取り組んでいらっしゃいました。



OHKでは今年7月に発生した西日本豪雨災害を受けて、この手話講座においてイオンモール岡山でお買い物などを楽しんでいる時に地震や火事などが発生した際の、聴覚障害者のお客様の避難誘導方法を講義内容に盛り込みました。聴覚障害者にとって、地震のように身体で感じるものを除いては、自分がいる場所で何が発生し、他のお客様がなぜ避難するのかをすぐに理解することが困難です。

講師の芦田さんからは聴覚障害者への対応について、手話でなくても「お客様の腕を強く引っ張って避難させ、理由は後で説明する」「“火事！” “地震！”とボード等で示して避難しなければならない状況を知らせる」といった方法で聴覚障害者のお客様を誘導することができるとのアドバイスがありました。

受講者の皆様からは「接客で必ず使うフレーズを教えてもらったのでためになりました」「近隣で手話サークルを探してみます」など、受講をきっかけに手話によるコミュニケーションにより高い関心を持って頂けました。

OHKではこれからもコミュニケーションの幅を広げるお手伝いを通して、地域に貢献していきたいと考えています。なお、この模様は9月3日（月）よる 10:54 からの「OHKフラッシュニュース」でも放送いたしました。

